

輸送原価計算(簡易型)

- 新しい仕事の見積、稼働中の仕事の分析に対応。
- 「この荷主はこれ以上の値引き要請に応じていたら赤字になる」
「場合によっては取引中止も視野に入れなければ……………」
→荷主から値引要請があれば、どこまで応じられるかがわかり、車両・ドライバーを入替えてシミュレーションもできる。
- 荷主や車両、部門ごとの収支が瞬時にわかり、見積もりの作成も大幅に迅速化。
経営戦略を練る上で欠かせないツール。
- 1人のドライバーがどんな部門の仕事もこなせる「多能化」を進めるうえでシステムで強力にサポート。
人員配置の効率化を進め、生産性を向上させている。
- 経営合理化に向けて「利益を生み出せる業務とそうでない業務」の判断材料。
- 新しい仕事の見積もりの計算や、燃料費上昇による赤字分がどれくらいかの計算も可能。
- 荷主との交渉や、経営課題の抽出、計画にも役立つ。

ホーム

輸送原価計算

データ入力

システム保守

原価計算データ入力

車両マスタ登録

人件費マスタ登録

係数マスタ登録

処理メニュー

終了

	No.	パターン数	便名	算出年月日	パターン1の条件を代表表示			
					車両コード	登録番号	人件費コード	人件費名
1	00001	01	福岡	2017/05/28	1234		01	上位者
2	00002	02	下関	2017/05/31	1234		01	上位者

原価データ一覧画面(管理表)
→ 選択

管理表No. 00002 - 01 コピー管理表No. - 過去データの流用ができます

便名 下関 受注区分
 車両コード 1234 トン数 11 車両登録年月日 2011/03/01 使用年数(償却年数) 4
 人件費コード 01 上位者
 算出年月日 2017/05/31 現行消費税率 8.00 印刷対象 内訳あり 内訳なし

原価データ入力画面
 (必要最低限の項目入力)
 青色項目

変動入力項目	
1回の走行距離	800
月間回数	20
月間走行距離	16,000
タイヤチューブ価格(1本当たり)	37,000
年間バンク修理費用	50,000
車両平均燃費(Km/リットル)	3.00
燃料単価(円/リットル)	110.00
油脂費係数	1.50
車検整備費	250,000
一般修理費	100,000
タイヤ装着本数	10

車両関係	
車両取得価格	20,000,000
消費税率(車両取得時)	8.00
自賠責保険料(年額)	40,000
車両検査手数料	12,000
ナンバープレート交付手数料	3,000
対人保険料(年額)	200,000
対物保険料(年額)	0
搭乗者保険料(年額)	0
リサイクル料金	0
自動車税	22,500
リース料(月額)	0

人件費関係	
月額支払賃金	350,000
年間支払賞与	600,000
健康保険料	10.11 20,220
介護保険料	1.65 3,300
厚生年金保険料	18.182 36,364
労災保険料	9.00 3,600
雇用保険料	9.00 3,600
福利厚生費 自社規定比率	3.00
退職金引当 自社規定比率	2.00

その他経費	
任意保険免責金額+事故処理費	12,500
月間通行料(1台当たり)	50,000
一般管理費率	15.00
営業利益率	15.00
年間のその他運送費(1台当たり)	150,000
月間片道運行回数	40

管理表No. -
 コピー管理表No. -
 過去データの流用ができます

便名
 受注区分

車両コード トン数
 車両登録年月日 使用年数(償却年数)

人件費コード

算出年月日 現行消費税率
 印刷対象 内訳あり 内訳なし

原価データ計算結果画面

	月額 (円)	構成比 (%)		月額 (円)	構成比 (%)
車両費	477,671	23.22	一般管理費	268,269	13.04
保険費	20,000	0.97	運送費合計	2,056,732	100.00
運行費	742,666	36.11	営業利益	308,510	
人件費	484,584	23.56	運送原価合計	2,365,242	
事故費	1,042	0.05	1 運行当たりの運送原価	59,131	
施設費	0	0.00	走行キロ当たりの運送原価	148	
その他運送費	12,500	0.61	輸送量当たりの運送原価	10,751	
通行費	50,000	2.43			
運送費計	1,788,463	86.96			

終了 取消 表示
ESC

管理表No.

便名

1つの輸送に対して
原価の複数例試算(パターン)

	パターン : 01		パターン : 02	
受注区分				
車両コード	1234		0000	
人件費コード	01 上位者		01 上位者	
車両費	477,671 円	23.22 %	155,700 円	11.62 %
保険費	20,000 円	0.97 %	0 円	0.00 %
通行費	742,666 円	36.11 %	460,200 円	34.34 %
人件費	484,584 円	23.56 %	484,584 円	36.16 %
事故費	1,042 円	0.05 %	2,292 円	0.17 %
施設費	0 円	0.00 %	0 円	0.00 %
その他運送費	12,500 円	0.61 %	12,500 円	0.93 %
通行費	50,000 円	2.43 %	50,000 円	3.73 %
運送費計	1,788,463 円	86.96 %	1,165,276 円	86.96 %
一般管理費	268,269 円	13.04 %	174,791 円	13.04 %
運送費合計	2,056,732 円	100.00 %	1,340,067 円	100.00 %
営業利益	308,510 円		134,007 円	
運送原価合計	2,365,242 円		1,474,074 円	
1 運行当たり運送原価	59,131 円		36,852 円	
走行キロ当たりの運送原価	148 円		92 円	
輸送量当たりの運送原価	10,751 円		18,426 円	

終了 取消 表示
 ESC

管理表No. 00002 - 01

便名 下関
 車両コード 1234 トン数 11
 人件費コード 01 上位者

受注区分
 車両登録年月日 2011/03/01 使用年数(償却年数) 4
 算出年月日 2017/05/31 現行消費税率 8.00

1つの輸送に対して
 見積り時原価と現時点原価の比較
 (妥当性チェック)

見積時		
	月額 (円)	構成比 (%)
1 運行当たりの運送原価	59,131	
走行キロ当たりの運送原価	148	
輸送量当たりの運送原価	10,751	
車両費	477,671	23.22
保険費	20,000	0.97
運行費	742,666	36.11
人件費	484,584	23.56
事故費	1,042	0.05
施設費	0	0.00
その他運送費	12,500	0.61
通行費	50,000	2.43
運送費計	1,788,463	86.96
一般管理費	268,269	13.04
運送費合計	2,056,732	100.00
営業利益	308,510	
運送原価合計	2,365,242	

現行		
	月額 (円)	構成比 (%)
1 運行当たりの運送原価	↓ 39,415	
走行キロ当たりの運送原価	↓ 99	
輸送量当たりの運送原価	↓ 0	
車両費	↓ 0	0.00
保険費	↓ 0	0.00
運行費	↓ 644,000	46.97
人件費	→ 484,584	35.35
事故費	→ 1,042	0.08
施設費	→ 0	0.00
その他運送費	→ 12,500	0.91
通行費	→ 50,000	3.65
運送費計	↓ 1,192,126	86.96
一般管理費	↓ 178,819	13.04
運送費合計	↓ 1,370,945	100.00
営業利益	↓ 205,642	
運送原価合計	↓ 1,576,587	

輸送原価計算書

結果表

便名		下関	
項目	月額 (円)	構成比 (%)	
1. 車両費	477,671	23.22%	
2. 保険費	20,000	0.97%	
3. 運行費	742,666	36.11%	
4. 人件費	484,584	23.56%	
5. 事故費	1,042	0.05%	
6. 施設費	0	0.00%	
7. その他運送費	12,500	0.61%	
8. 通行費	50,000	2.43%	
運送費計	1,788,463	86.96%	
一般管理費	268,269	13.04%	
運送費合計	2,056,732	100.00%	
営業利益	308,510		
運送原価合計	2,365,242		

1 運行あたりの運送原価	59,131
走行キロ当りの運送原価	148
輸送量当たりの運送原価	10,751

1. 車両費

項目	月額 (円)	構成比 (%)
1) 車両登録費	313	0.015%
2) リサイクル料	0	0.00%
3) 消費税	33,333	1.62%
4) 償却費/リース料	395,833	19.25%
5) 金利	31,250	1.52%
6) 自動車取得税	12,500	0.61%
7) 自動車税	1,875	0.09%
8) 自動車重量税	2,567	0.12%
車両費計	477,671	23.22%

2. 保険費

項目	月額 (円)	構成比 (%)
1) 自動車損害賠償責任保険	3,333	0.16%
① 対人賠償責任保険	16,667	0.81%
(2) ② 対物賠償責任保険	0	0.00%
③ 搭客者傷害保険	0	0.00%
④ 車両保険	0	0.00%
保険費計	20,000	0.97%

3. 運行費

項目	月額 (円)	構成比 (%)
1) 燃料費	586,667	28.52%
2) 給油費	24,000	1.17%
(3) ① 車検整備費	20,833	1.01%
② 一般修理費	8,333	0.41%
4) タイヤチューブ費	102,833	5.00%
運行費計	742,666	36.11%

4. 人件費

項目	月額 (円)	構成比 (%)
1) 支払賞金	350,000	17.02%
2) 支払賞与	50,000	2.43%
(3) ① 健康保険料	20,220	0.98%
② 介護保険料	3,300	0.16%
③ 厚生年金保険料	36,364	1.77%
④ 労災保険料	3,600	0.18%
⑤ 雇用保険料	3,600	0.18%
4) 福利厚生費	10,500	0.51%
5) 退職金引当金	7,000	0.34%
人件費計	484,584	23.56%

6. 施設費

項目	月額 (円)	構成比 (%)
1) 施設使用料	0	0.00%
2) 施設維持費	0	0.00%
施設費計	0	0.00%

車両マスタ登録画面

車両コード	1234
登録番号	大型
積載トン数	11
車両登録年月日	2011/03/01 15
車両取得価格	20,000,000
消費税率(車両取得時)	8.00
自賠責保険料(年額)	40,000
車両検査手数料	12,000
ナンバープレート交付手数料	3,000
対人保険料(年額)	200,000
対物保険料(年額)	0
搭乗者保険料(年額)	0
自動車税	22,500
リース料(月額)	0
タイヤ装着本数	10
車両廃止年月日	日付の選択 15

終了
ESC

登録
F4

	人件費コード	人件費名	月額支払賃金	年間支払算与
1	01	上位者	350,000	600,000
2	02	中位者	300,000	500,000
3	03	下位者	250,000	400,000
4				

人件費マスタ登録画面

終了 ESC 登録 F4

係数マスタ登録画面

消費税率	<input type="text" value="8.00"/>	%
健康保険料率	<input type="text" value="10.11"/>	%
介護保険料率	<input type="text" value="1.65"/>	%
厚生年金保険料率	<input type="text" value="18.182"/>	%
労災保険料率	<input type="text" value="9.00"/>	/1000
雇用保険料率	<input type="text" value="9.00"/>	/1000
福利厚生費 自社規定比率	<input type="text" value="3.00"/>	%
退職金引当金 自社規定比率	<input type="text" value="2.00"/>	%
油脂費係数	<input type="text" value="1.50"/>	円/km
一般管理费率	<input type="text" value="15.00"/>	%
営業利益率	<input type="text" value="15.00"/>	%

原価計算システム(詳細型)

□ 課題・ニーズ

・原価計算をシステム化しなければ、適切な価格交渉が難しい。

従来から原価計算は実施していたが、手作業では膨大な時間がかかってしまう。荷主からは即座に回答が求められ、競争は激しい。生き残るためにも正確な原価計算システムが求められる。

・原価シミュレーションを行うには、日々の運転日報のデータベース化が必要である。

原価計算の基になるデータは日々の運転日報である。日報の車両情報、燃料情報、勤務時間情報、顧客情報がなければ必要な原価計算はできない。有効なデータの蓄積のためにも、運転日報のデータベース化が必要である。

・厳しい経営環境の中では、社員のコスト意識を高めなくてはならない。

経営者から事務スタッフ、ドライバーに至るまで、コスト意識を高め、工夫をして、収入アップ、コストダウンを図る必要がある。そのためには、ドライバーが運転日報をきちんと記載し、事務スタッフが正確なデータを入力し、管理者がデータの適正性を確認しなければ、正確な原価計算はできない。

□ 導入効果

・見積りのスピード化及び正確性の向上が図れた。

荷主の輸送条件に合わせて見積原価計算書をすぐに作成できるようになった。データはすべて運転日報をベースにした詳細データの積上げであり、すべての条件を個別に変更しながらシミュレーションができるので、荷主と適正な交渉が可能である。

・得意先ごとの収支が明確になるため、経営判断材料として活用できる。

運行データを基に得意先ごとの収支管理が可能になった。スポット、車建て、月間固定など様々な条件、車種ごとの収支も算出でき、どの得意先のどの仕事が良いか悪いかを判断できる。運賃や契約条件を交渉し、適正な利益を得られなければ取引条件を再度交渉し、理解が得られなければお断りすることもある。

・経営幹部のコスト意識が向上した。

収支データはすべて生のデータからの積上げであり、経営幹部にも理解できるように部門、車種、得意先、ドライバー等の集計単位で実際の計算結果を見ながら経営会議を行っている。経営幹部も実際の現場の状況と比較しながら収支を把握できるため、どんな条件でコストが上下するのかについて意識が高まった。

・会議でのデータ確認が即座にできるようになった。

ある数値がおかしいと思った時でも、詳細データまでブレークダウンでき、数値の適正性を検証できるため、納得性の高い会議ができるようになった。

・コスト削減のポイントが明確になった。

1日に複数の作業をする場合でも作業ごとの時間まで把握できているため、最も小さい単位での原価計算が可能であり、無駄な待ち時間、非効率な荷役等が見えてくる。

どの作業のコストを削減すれば効果的なのか、そのポイントが明確になった。

車両運送原価計算システム

<事例紹介>

当システムは、車両マスタ及び過去蓄積された車輛修理費、タイヤ費、燃料費、その他経費データ、走行キロ、給与システムから指定した期間のデータを呼び出して平均値や直近値を求め、原価計算に使用しています。

山陽システム株式会社

目次

新聞・月刊誌掲載記事

システムの概要

作業内容の事例（作業内容・固定費の計算・変動費の計算・合計）

メニュー画面

車両運送原価計算入力画面（作業内容と固定費・変動費・償却費の内訳・軽油L/kmの内訳・軽油単価/Lの内訳）

パターン対比画面

統合画面

EXCELへの出力

車両運送原価計算書の印刷（社内用・社外用）

掲載記事

【物流ニッポン新聞 掲載】



○「この荷主はこれ以上の値引き要請に応じていたら赤字になる」
「場合によっては取引中止も視野に入れなければ……………」

→ 荷主から値引き要請があれば、どこまで応じられるかがわかり、ドライバーを入替えてシミュレーションもできる。

○荷主や車両、部門ごとの収支が瞬時にわかり、見積もりの作成も大幅に迅速化。
経営戦略を練る上で欠かせないツール。

○現場のデータを入力し、実際値と理論値が出る。

○1人のドライバーがどんな部門の仕事もこなせる「多能化」を進めるうえでシステムで強力にサポート。
人員配置の効率化を進め、生産性を向上させている。

【いすゞ輸送リーダー 掲載】



○経営合理化に向けて「利益を生み出せる業務とそうでない業務」の判断材料。

○固定費はもとより、燃料費や修理費などの変動費も詳細に把握可能。

○新しい仕事の見積もりの計算や、燃料費上昇による赤字分がどれくらいかの計算も可能。

○荷主との交渉や、経営課題の抽出、計画にも役立つ。

システム概要

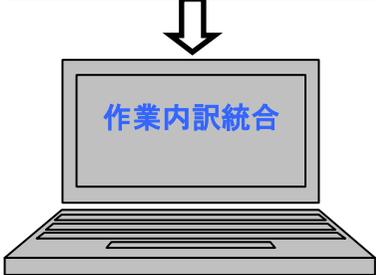
[ケース1] 新しい仕事の見積依頼

- お客様との運行条件ヒヤリング
- 運行形態の確認
 - 必要とする車種
 - 必要とする車種積載量
 - 積載物
 - 仕向先(走行距離・運行日程)

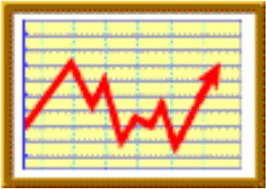


[ケース2] 稼働中の仕事の分析

- 現状作業の収支把握、実績補足 (車両、人の見直し)



EXCELデータとして出力



二次加工処理ができる
過去データを一覧で見れる

決定

- 単独作業の見積又は実績の補足ができる。
例] 宇部から大阪まで10トンの車輸送の見積依頼があった
- 複合作業の見積又は実績の補足ができる。
例] 宇部工場内での20トンのクレーン製品積込で、広島まで11トンの平ボディ車輸送の一貫業の見積依頼があった
- 1つの作業でいろいろな原価パターンのシュミレーションが出来る。
- 固定費、変動費を入力するにあたっては次の方法ができる。
数値を直接手入力する
車両マスタの登録情報から自動で取込む
車両運送実績データから自動で取込む
車両経費実績データから自動で取込む
給与実績データから自動で取込む
- 複数作業の内訳が一覧で見ることができる。

原価計算書
(社内用)
(社外用)

EXCEL等で作成
お見積書

見積算出根拠が必要な場合は添付

提出



得意先

作業内容

宇部市内の工場で重量物を積み込み、広島まで搬送する(帰荷はなし)

○必要な機材及び人数

積込用クレーン	20t クレーン1台
広島まで運搬車両	11トン車平ボディ 2台
積込用作業員	5名(内2名は乗務員で可)
クレーン使用時間	8時から10時

○予定作業時間

積込時間	8時から12時
(納入先に夕方5時に必着) 出発時刻	午後1時(高速道)
到着見込時刻	午後4時30分(所要3時間30分)
荷卸し時間	午後5時から6時(所要1時間)
帰り出発	午後6時
会社到着	午後10時30分(一般道)

○走行距離

積込場所から納入先までの距離	
積込場所から小郡IC	40Km
小郡ICから広島IC	139Km
広島ICから納入先	10Km
片道計	189Km
納入先から会社	179Km
往復計	368Km

○高速使用 小郡～広島

○1日行程

残業時間	5時間30分(5時～10時30分(途中に夕食はとらず作業終了後直ちに帰る))
先方での荷卸し時間	1時間(5時～6時)
先方から会社までの帰庫	4時間30分(6時～10時30分(一般道で帰社))

この作業内容の場合、車両運送原価計算入力では積込用クレーン(クレーン2台と作業員3名)と広島まで運搬(11t車平ボディ2台と乗務員2名)を複合作業としてとらえ別々に入力する。

次頁以降の固定費と変動費についての説明は広島まで運搬作業を事例としてとりあげる。また、各項目の入力にあたっては、各種実績データからの自動取込みを中心とし、手入力するケースは極力小さくした。

固定費の計算

先ず年額を求める。

次に年額を12で割って月額換算し、更に行程日数を掛けて当月の月間日数で割って最終的に行程金額を算出する。
車両運送実績と車両経費実績データから取り出す時に、参照期間を2000/03～2008/03と指定した。

○償却費	参照期間2000/03～2008/03の車両経費実績データから2台分の年間償却費113,724円を取り出した。	
○金利	2台分の車両取得価格24,000,000円を車輛マスタから取り出し、年金利3%で返済期間にかかわらず簡便法により年間支払利息60,000円を算出した。簡便法は取得価格*金利÷2	
○租税公課		
取得税 (取得価格の3%)	取得価格24,000,000円*0.03÷償却年数4年で年額180,000円を算出した。	
償却資産税	取得価格24,000,000円で法定償却6年の償却資産税総額796,990円を計算し、償却年数4年で割って年額199,248円を算出した。	
自動車税	車両マスタに登録してある割引後の年額をそのまま適用した。	85,200
重量税	〃	128,200
○保険料		
自賠責	車両マスタに登録してある割引後の年額をそのまま適用した。	137,410
対人(無制限)	〃	63,390
対物(100万)	〃	21,020
車輛(なし)	〃	0
積荷(1000万)	〃	46,160
賠償	〃	0
火災	〃	0
その他	〃	0
○定検費		
車検費1	車両経費実績データから期間2000/3～2008/3の実績値を年換算して取り出す	706,802
車検費2	〃	5,000
その他	〃	0
○リース料	2台とも現金購入	0

変動費の計算

- 労務費
- 乗務員2人分の給与を給与実績データから取り出す時に、労務費参照期間を2007/03～2008/02と指定した。
- 給与
- 日給単価は労務費参照期間内の2人分日給合計÷2人分総出勤日数で2人分14,537円を求めた。
残業時間は行程条件の1人分残業時間5.5Hを手入力した。
残業単価は労務費参照期間内の2人分残業手当合計÷2人分残業時間合計で2人分1,848円を求めた。
能率給は労務費参照期間内の2人分能率給合計÷2人分総出勤日数で2人分1日当たり8,458円を求めた。
深夜時間は行程条件にない。
従って深夜残業単価は計算しない。
食事代は夕食をとらずに帰庫するのでなし。
上記の単価、時間等で1日当たり給与33,159円を求め行程日数1日を掛けて行程内給与33,159円を算出した。
- 賞与
- 労務費参照期間内の2人分賞与合計÷支給月数で賞与月平均57,800円を求め、月平均賞与57,800円*行程日数1日÷当月月間日数22日で2人分の行程内賞与1日当たり2,627円を求めた。
- 福利費等
- 上記で求めた行程内給与33,159円と行程内賞与2,627円の合計35,786円に、手入力した福利費等係数25%を掛けて8,947円を算出した。
- 燃料費
- 軽油代
- 走行距離は行程条件の368kmを表示。
L/kmは車両経費実績データの参照期間2000/03～2008/03の2台それぞれの総給油量を総走行距離を取り出して計算し0.3181を求めた。
単価/Lは車両経費実績データの参照期間2000/03～2008/03の2台それぞれの総軽油代と総給油量を取り出して計算し128円を求めた。
軽油代は走行距離368km*L/km0.3181*単価/L128円=14,984円。
- オイル
- 軽油代14,984円に手入力したオイル係数10%を掛けて1,498円。
- 一般修理費
- 行程条件の走行距離368kmを表示。
単価/kmは車両経費実績データの参照期間2000/03～2008/03の2台それぞれの総修理費を総走行距離で割って14.405円を求めた。
修理費は走行距離368km*単価/km14.405円=5,301円。

○タイヤ費

タイヤ

行程条件の走行距離368kmを表示。

単価/kmは車両経費実績データの参照期間2000/03～2008/03の2台それぞれの総タイヤ費を総走行距離で割って1.204円求めた。

タイヤ費は走行距離368km*単価/km1.204円=443円。

メンテナンス

行程条件の走行距離368kmを表示。

単価/kmは車両経費実績データの参照期間2000/03～2008/03の2台それぞれの総メンテナンス費を総走行距離で割って0.293円を求めた。

メンテナンス費は走行距離368km*単価/km0.293円=108円。

○事故費

参照期間2000/03～2008/03の間は2台とも無事故であったため入力はなしとした。

○通行料

小郡ICから広島IC 割引なし6,350円*2台=12,700円を手入力した。

○その他経費

消耗品費

車両経費実績データの参照期間2000/03～2008/03の2台それぞれの総消耗品費の月平均1,928円を求めた。

消耗品費は月平均1,928円*行程日数1日÷月間日数22日=88円。

その他

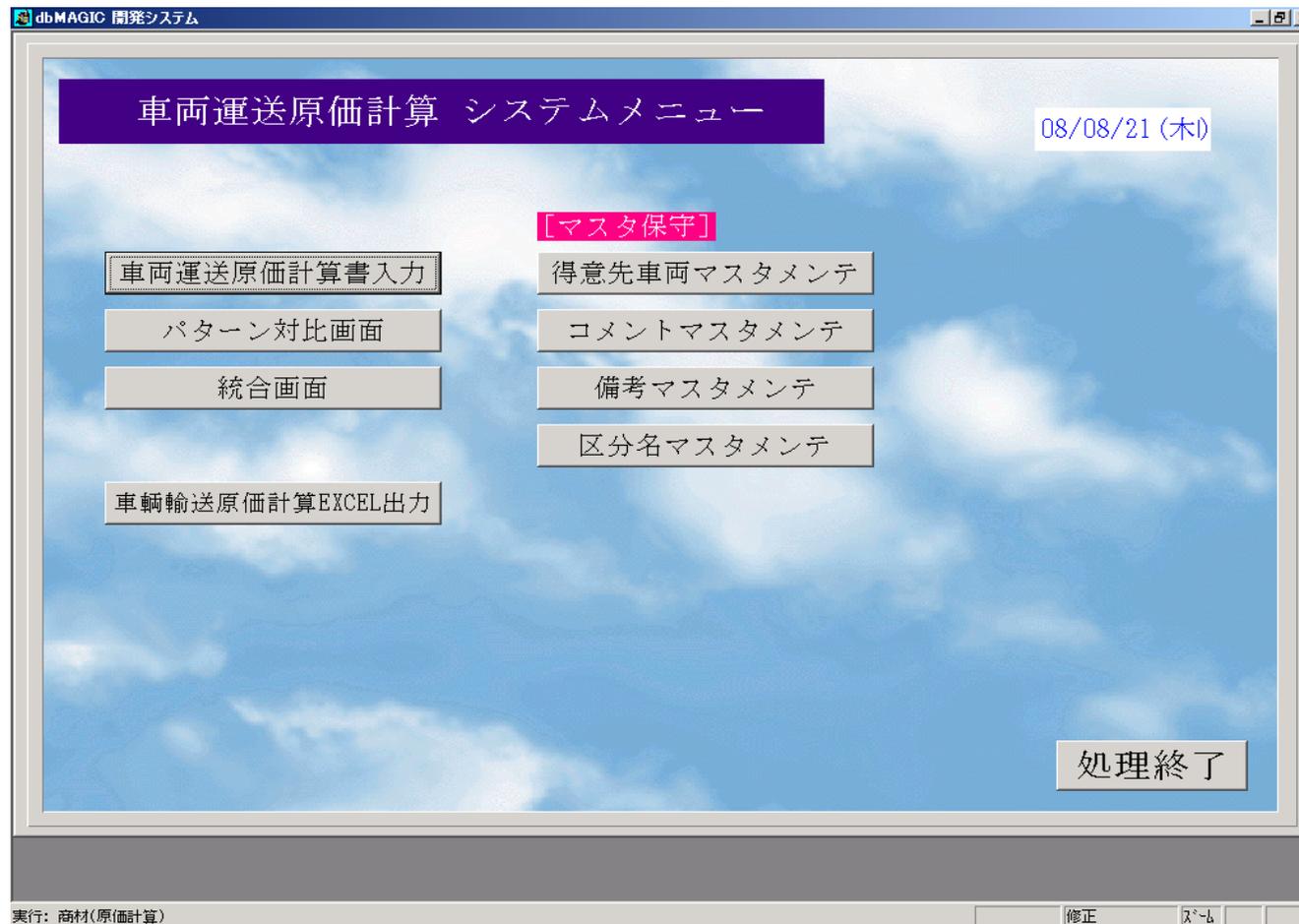
車両経費実績データの参照期間2000/03～2008/03の2台それぞれの総その他費の月平均520円を求めた。

その他経費は月平均520円*行程日数1日÷月間日数22日=24円。

合 計

- 固定費計 固定費の合計7,753円
- 変動費計 変動費の合計79,879円
- 運送原価 固定費計＋変動費計＝87,632円
- 管理費 運送原価87,632円に対する管理費係数10%を手入力し管理費8,763円
- 費用合計 運送原価87,632円＋管理費8,763円＝96,395円
- 営業利益 費用合計96,395円に対する営業利益係数3%を手入力し営業利益2,892円
- 総合計 費用合計96,395円＋営業利益2,892円＝99,287円
- 収入 収入144,600円を手入力した。
- 差引収支 収入144,600円－総合計99,287円＝45,313円

メニュー画面



- 車両運送原価計算書入力
仕事内容と運行諸条件及び固定費、変動費、管理費の入力を行う。
当画面から原価計算書の印刷ができる。
- パターン対比画面
1つの作業でいろいろなパターンを入力した場合には一覧で表示でき、どのパターンを採用するかを決定する。
- 統合画面
複合作業の内訳が一覧で見ることができる。
- 車両運送原価計算書EXCEL出力
入力された原価計算書データはEXCELデータとして出力出来る。
- マスタ保守
得意先車両マスタ コメントマスタ
備考マスタ 区分マスタ
- 基幹システムからの参照データとしては
得意先、車両、社員マスタ
車両運送実績データ
車両経費実績データ
給与実績データ

作業内容と固定費の入力例

宇部から広島までの運搬作業
の入力例

dbMAGIC 開発システム

車両運送原価計算

通番号: 101-1-A 作成日: 2008/07/16

得意先: U001 10 山口機械工業
 参照期間: 2000/03 ~ 2008/03
 対象車番: 2台 T01 山口 100あ1001
 部門: 3本社 2トラック
 行き先: 広島
 行程日数: 1.00日
 対象者: 2人 288鈴木 一郎

償却・リース: 3 兼用 10.0%
 対象車種: 1 普通平ボディトラック
 償却年数: 車両 4 タンク等 3.0%
 対象距離: 1 手入力 368 Km
 月間日数: 22日
 内容: 1 手入力
 内 容: 工場で重量物を積込 広島まで搬送

項目	係数	按分年数	按分月数	月間金額	行程日数	月間日数	行程金額
償却費	3		12	9,477	1.00	22	431
金利		0.03	2	30,000	1.00	22	1,364
租税公課							
取得税	2		12	180,000	1.00	22	882
償却資産税	1		12	199,248	1.00	22	755
自動車税	2		12	85,200	1.00	22	323
重量税	2		12	128,200	1.00	22	486
保険料	2		12		1.00	22	
自賠責			12	137,410	1.00	22	521
対人			12	63,390	1.00	22	240
対物			12	21,020	1.00	22	80
車両			12	0	1.00	22	0
積荷			12	46,160	1.00	22	175
賠償			12	0	1.00	22	0
火災			12	0	1.00	22	0
その他			12	0	1.00	22	0
定検費							
車検費1	2		12	706,802	1.00	22	2,677
車検費2	2		12	5,000	1.00	22	19
その他			12	0	1.00	22	0
リース料			12	0	1.00	22	0
固定費計							7,753

固定費計 7,753
 変動費計 79,879
 運送原価 87,632
 管理費 8,763
 費用合計 96,395
 営業利益 2,892
 総合計 99,287
 収入 144,600
 差引収支 45,313

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12
 削除 検索 印刷 内訳 終了

実行: 商材(原価計算) 修正 INS

○作業内容では得意先、車両、人、行き先、行程日数などを入力する。

○固定費は次の入力方法が出来る。
 手入力する
 車両マスタからの取込み、
 車両経費実績データからの取り込み

○当画面では複数人、複数車両の入力ができるので、各項目でF7を押下すれば人、車両ごとの内訳がわかる。

○各項目の先頭にあるチェックボックスをクリックすれば項目ごとのコメント入力ができ、原価計算書に印字される。

○固定費計～差引収支は固定費、変動費の各項目金額を入力の都度、即時に最新が表示される。

○F6:印刷 車両運送原価計算書の印刷。
 社内用と社外用

変動費の入力例

宇部から広島までの運搬作業
の入力例

dbMAGIC 開発システム

車両運送原価計算 通番号 101-1-A 作成日 2008/07/16

得意先	U001 10 山口機械工業	親番	子番	バ	固定費計	7,753
参照期間	2008/03 ~ 2008/03	価却・リース	3 兼用	10.0 %	変動費計	79,879
対象車番	2 台 T01 山口 100あ1001	対象車種	1 普通平ボディトラック		運送原価	87,632
部門	3 本社 2 トラック	価却年数	車両 4 タンク等	3.0 %	管理費	8,763
行き先	広島	対象距離	1 手入力 368 Km		費用合計	96,395
行程日数	1.00 日	月間日数	22 日	1 手入力	営業利益	2,892
対象者	2 人 268 鈴木 一郎	内容	工場で重量物を積込 広島まで搬送		総合計	99,287
					収入	144,600
					差引収支	45,313

変	労務費	参照期間	(2007/03 ~ 2008/02)											
	給与	2 給与D	日給単価	14,537	残業時間	5.5	残業単価	1,848	能率給	8,458	深夜時間		深夜単価	
	賞与	2 給与D	賞与額	57,800										
	福利費等		(給与+賞与) * 係数	25.00 %										
	燃料費		走行距離	368	L/km	0.3181	単価/L	128,000 円						
	軽油代	2 車両D												
	オイル													
	修理費		走行距離	368	単価/km	14.405 円								
	一般修理	2 車両D												
	タイヤ費		走行距離	368	単価/km	1.204 円								
タイヤ	2 車両D													
メンテナンス	2 車両D				0.293 円									
費	事故費	2 車両D	月平均額											
	通行料	1 手入力	実費	12,700										
	その他経費		月平均額											
	消耗品	2 車両D		1,928										
	その他	2 車両D		520										
変動費計													79,879	

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

検索 内訳 終了

実行: 商材(原価計算) 修正 INS

- 変動費は次の入力方法が出来る。
手入力する
給与実績データからの取り込み、
車両経費実績データからの取り込み
車両運送実績データからの取り込み

- 前頁の固定費と同じ機能

軽油 L/kmの内訳

dbMAGIC 開発システム

車両運送原価計算

通番号: 101 - 1 - A 作業日: 2008/07/16

得意先: U001 | 10 | 山口機械工業
 参照期間: 2000/03 ~ 2008/03
 対象車番: 2台 | T01 | 山口 | 100あ1001
 部門: 3 | 本社 | 2 | トラック
 行き先: 広島
 行程日数: 1.0
 対象者: 2人

固定費計: 7,753
 変動費計: 79,879
 運送原価: 87,632
 管理費: 8,763
 費用合計: 96,395
 営業利益: 2,892

10.0 %
 3.0 %

データ参照期間: 2000/03 ~ 2008/03

行程金額: 144,600
 45,313

軽油代 L/Kmの車輛経費実績データからの取込み

枝番	車番	登録番号	総給油量	総走行キロ
010	T01	山口 100あ1001	17,008.74	71,637
010	T02	山口 200あ1002	43,736.79	119,327
[合計]			2台 60,745.53	190,964

給油量 ÷ 走行キロ = 0.3181

終了

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

検索 内訳 終了

実行: 商材(原価計算) 照会 INS

○軽油代の位置でF7を押下すれば表示される。

軽油 単価/Lの内訳

dbMAGIC 開発システム

車両運送原価計算

通番号: 101-1-A 作成日: 2008/03

得意先: 0001 10 山口機械工業
 参照期間: 2000/03 ~ 2008/03
 対象車番: 2台 T01 山口 100あ1001
 部門: 3 本社 2 トラック
 行き先: 広島
 行程日数: 1.00日
 対象者: 2人 268 鈴

親番: 子 子 子
 価却・リース: 3 兼用
 対象車種: 1 普通トラック
 価却年数: 車両タンク等
 10.0%
 3.0%

固定費計: 7,753
 変動費計: 79,879
 運送原価: 87,632
 管理費: 8,763
 費用合計: 96,395
 営業利益: 2,892
 99,287
 144,600
 45,313

データ参照期間: 2000/03 ~ 2008/03

軽油代の車両経費実績データからの取込み

枝番	車番	登録番号	総燃料費	総給油量	行程金額
010	T01	山口 100あ1001	2,202,037	17,008.74	33,159
010	T02	山口 200あ1002	5,573,390	43,736.79	2,627
					8,947
					14,984
					1,498
					5,301
					443
					108
					0
					12,700
					88
					24
					79,879

[合計] 2台 7,775,427 60,745.53

F9 終了 燃料費÷給油量 128.000

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

検索 内訳 終了

実行: 商材(原価計算) 照会 INS

○軽油代の位置でF7を押下すれば表示される。

統合画面

運搬作業と積込用クレーン作業
の統合

dbMAGIC 開発システム

統合画面

親番 通番号 101 作成日 2008/07/17 得意先 U001 - 10 山口機械工業

項目名	1-A 検索 普通平ボディ	2-A 検索 クレーン				[合計]
償却費	431	5,888				6,319
金利	1,364	1,534				2,898
取得税	682					682
償却資産税	755	849				1,604
自動車税	323					323
重量税	488					488
自賠責保険料	521	181				702
対人保険料	240	255				495
対物保険料	80	188				268
車両保険料		1,784				1,784
積荷保険料	175					175
賠償保険料						
火災保険料						
その他保険料						
車検費1	2,877	927				3,804
車検費2	19					19
その他車検費						
リース料						
固定費計	7,753	11,604				19,357
給与	33,159	45,808				78,785

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

取消 印刷 終了

実行: 商材(原価計算) 修正 INS

○積込クレーン作業と広島までの運搬作業を統合した画面で、複合作業全体の内容がわかる。

○1作業内では確定されたパターンが表示される。

○縦スクロールバーを移動すればすべての項目が参照できます。

EXCELへ出力

運搬作業と積込用クレーン作業
のEXCELへの出力

○過去のデータを一覧で見て、どういう原価計算を行なったかの検証ができる。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	通番号(親)	通番号(子)	通番号(ハターン)	確定区分	作成日	得意先コード	得意先名	参照期間 FROM	参照期間 TO	償却・リース	償却・リース	対象車番
2	101	1	A	1	2008/07/16	U001-10	山口機械工業	2000/03	2008/03	3	兼用	
3	101	2	A	1	2008/07/16	U001-10	山口機械工業	2000/03	2008/03	3	兼用	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												
31												
32												

運搬作業データ

積込用クレーン作業データ

○スクロールバーを移動すればすべての項目が参照できます。